

地域と連携した 口腔外科・障がい児(者)歯科診療を 目指して

四国こどもとおとの医療センター

歯科口腔外科医長 岩崎昭憲

歯科口腔外科



地域の先生方にはいつも大変お世話になっております。

歯科口腔外科で診療を行っている岩崎昭憲と申します。私は2020年4月、本病院に歯科口腔外科が開設されたとともに歯科口腔外科医長に就任しました。

コロナ禍のなか、当科は開設されたわけですが、当初は歯科治療自体が感染リスクのある行為とされ、外来を制限しながらのスタートとなりました。現在でもリスクがなくなったわけではありませんが、5類感染症となりウイズコロナの態度で診療に臨んでいます。

当科での診療は原則紹介患者さんのみです。この4年近くの間に、患者数は徐々に増加し、2023年度の延べ患者数は2020年度の2倍程度に達する見込みです。これもひとえに地域の先生方からの紹介のおかげです。感謝申し上げます。

当科での診療の大きく3つに分けますと、①口腔外科治療、②障がい児(者)の歯科治療、③周術期等口腔機能管理になります。

口腔外科治療

一般的の歯科医院では対応困難な、埋伏歯の抜歯、外傷、歯原性の囊胞・腫瘍、炎症性疾患などを対象に治療を行っています。また全身的疾患により注意を要する患者さんの観血的処置(口腔外科処置)にも対応しています。当院で対応困難な症例は香川大学附属病院と連携して治療にあたっています。2023年11月からは月1回、第二木曜日に香川大学歯科口腔外科より三宅実教授が診療援助のため外来診療を開始

しました。

障がい児(者)の歯科治療

様々な障がいにより地域の歯科医院では歯科診療が困難な方の診療を行っています。重症心身障がい児(者)を含む先天的・中途障害をお持ちの方を対象に歯科診療を行っています。その障がいに応じた適切な対処法を用い安全・安心の歯科治療を心がけています。障がいによっては入院下、全身麻酔下での治療にも応じています。

周術期等口腔機能管理

医科診療科において、手術等を実施される患者さんに周術期の口腔機能管理を行っています。術前から術後まで口腔周囲のトラブルおよび口腔が関連した全身合併症(誤嚥性肺炎等)を起こさずに入院生活が過ごせるように評価・管理を行っています。また、香川県歯科医師会が行っている「がん診療医科歯科連携事業」に、本院も2021年2月より参加し、地域の歯科医院への術前・術後の紹介を推進、患者の情報を共有しシームレスな口腔管理を継続できるように行っています。

当科の外来診療日は毎週月曜日、火曜日、金曜日と第二木曜日です。完全予約制で地域連携室を通して予約いただけましたら幸甚です。お困りの患者さんがいらっしゃるようでしたら是非ご相談ください。今後ともご助言お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

患者さん中心のアプローチ 手術以外の選択肢も考慮し、患者さんの お困りごとを解決します

四国こどもとおとの医療センター

脳神経外科医長 大北真哉

脳神経外科



地域の先生方にはいつも多くの患者様をご紹介いただき、心より感謝しております。また、当院からの患者様のご紹介に際しても、快く引き受けいただき、大変助かっております。誠にありがとうございます。

まず、私の経験についてご紹介させていただきます。2003年、徳島大学脳神経外科での勤務を経て、2007年には旧香川小児病院で小児脳神経外科医としての経験を積みました。その後、高松市立みんなの病院を経て、2021年4月には当院脳神経外科医長および脳卒中センター長として着任いたしました。再びこの地でみなさまと共に働くことを心より嬉しく思っております。私は主に脳卒中を中心に対応しておりますが、専門分野は脳腫瘍および機能神経外科(痛みやふるえなど)です。

次に当科のご紹介をさせていただきます。私以外にも谷口秀和(小児脳神経外科医長、小児神経外科認定医)および萩野寛隆(脳神経血管内治療専門医)という2名の脳神経外科専門医が在籍しています。小児脳神経外科疾患や脳血管内治療において専門的な知識と経験を持つ医師が揃っており、患者様に対して的確で丁寧な治療を提供しています。当科は生育医療から成人医療まで包括的に対応可能です。さらに昨年は手術用顕微鏡、ナビゲーションシステム、神経内視鏡システムの刷新を行い、治療の幅を広げています。

特に下垂体腫瘍に対する内視鏡下経鼻的経蝶形骨洞手術や顔面痙攣・三叉神経痛に対する微小神経血管減圧術などに積極的に取り組んでいます。

ただし、手術は治療の手段の一つに過ぎません。手術が必要であるか否かに関わらず、患者さんのお悩みに寄り添い、適切な解決策を見つけることが最優先だと考えております。ちょっと気になる症状がある患者さん、またレスパイト入院をご希望の患者さんのことなど手術の必要性に関わらず、お気軽にご相談いただければと思います。患者さんと先生のご負担を少しでも軽減できるよう、心を込めてサポートさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。